図書館だより

Library information

○中央図書館（LIC はびきの内）　軽里 1-1-1　☎072-950-5501
○陵南の森図書館　島泉 8-8-1　☎072-952-2750
○羽曳が丘図書館　羽曳が丘西 2-5-1　☎072-957-5553
○丹比図書館　樫山 251-1　☎072-937-2355
○東部図書館　古市 1541-1　☎072-950-2002
○古市図書館 ☎072-958-0050 (水)(木)(金)(土)(日) 10:00 ～ 17:30
○ブックステーションはびきのコロセアム ☎072-937-7210 (火)(木)(金) 13:30 ～ 16:30

●開館時間 10:00 ～ 18:00（※中央図書館は 10:00 ～ 20:00）

☆ 読んでみませんか？

『徳川家康（人物叢書　新装版）』

藤井　譲治／著
吉川弘文館

戦国の世を生き抜き、徳川幕府の礎を築いた家康の生涯を、後世に付け加えられた神格化や脚色を除き、一次資料から再現した労作。

『雲を紡ぐ』

伊吹　有喜／著
文藝春秋

私が生まれたとき、祖父母が作ってくれた赤いショール。それは、羊の毛を紡ぎ、染め、織り上げるまでを一つの工房で行う「ホームスパン」と呼ばれるものでした。

『はじまりはたき火』

まつむら　ゆりこ／著
小林　マキ／絵
福音館書店

火を起こし、様々な形で利用することから始まった、人類とエネルギーとの長い歴史をたどり、その将来の姿を考える知識絵本です。

おはなし会（3 月）

中央図書館	8 日(日)　14 日(土) 22 日(日)　28 日(土)	13:30 ～
陵南の森図書館	1 日(日)　8 日(日) 22 日(日)	11:00 ～
	21 日(土)	15:00 ～
	15 日(日) ・11:00（小さい子向き） ・11:30（少し長い話が聞ける子向き）	
東部図書館	11 日(水)	10:30 ～
古市図書館	21 日(土)	15:00 ～
丹比図書館	28 日(土)	10:30 ～
羽曳が丘図書館	14 日(土)　28 (土)	15:00 ～

今月の特集テーマ

中央図書館	一般	さくらの本
	児童	春の本
陵南の森図書館	一般	“はじめて” を見つける趣味の本
	児童	であいとわかれの本
東部図書館		おいしそうな本
古市図書館		なんでも一番 ★図書館ギネスブック
丹比図書館		災害に備える
羽曳が丘図書館		外国語を学ぼう

◇ちびっこサロン

日時　3 月 11 日 (水)　10:30 ～
場所　森のゆうびんきょく

◇春休み！おはなし大会

日時　4 月 5 日 (日)　**場所**　中央図書館
[おはなし] 羽曳野市子ども文庫連絡会・おはなしの森の皆さん

① 13:30 ～ 14:00
幼児～ 8 歳くらい向き
「王子様の耳はロバの耳」ほか

② 14:15 ～ 14:45
9 ～ 12 歳くらい向き「魔法の馬」ほか

③ 15:00 ～ 15:30
中・高校生、大人向き「かけひき」ほか

今月の休館日は 3 月 31 日(火)
市内の図書館は全て休館となります。

サラダボール

かつて若い頃、何かの授業で、カエルは、異物や嫌なものを飲み込んだ時に、胃袋ごと吐き出して洗えるということを知りました。とても衝撃的だったと同時に、私の心も、カエルの胃のように取り出せて洗濯できたなら、すぐに沈んだ心を切り替えて、軽くきれいにできるのにな、と到底無理だとわかりつつも、そう願望していた自分を思い出しました。

それというのも、先日、なんとなく流れていたテレビから、こんな言葉を聞いたからでした。

『突然の病や災害、過酷な労働環境によるストレスなど人生にはいつ巻き込まれてもおかしくない逆境が訪れます。そんな時に、再び立ち上がるための「レジリエンス」をご存じですか？』と。

「レジリエンス」とは、何なのだろう。すがるように続きの言葉を待ちました。ストレス社会の中で、潰されそうになりながらも、そんな今を、自分なりに乗り越えていく必要性を多くの人が感じているという背景から、注目されている言葉のようです。

回復力とも呼ばれ、だれの中にも備わっている再生する力のことで、自己肯定感をどうやって養っていくかが個々のレジリエンスを強め、育てていくことに繋がっていくと解説されていました。

もちろん、レジリエンスは、弱いより強い方がいい、私も、いろんな不条理や葛藤状態を自分の中で昇華して、しなやかに生きていきたい、そのうえで、人には優しくありたいと感じています。それでも、日々のストレスに押しつぶされそうになる時は、「いつまでも続く苦しみはないよ、ゆっくりでも一日、一歩ずつ進んでいるよ」と反復するようにしています。もしかしたら、自分のなかのレジリエンスが強まるときがあるとするなら、こういうふうに、どこかで自分を励ます自分がいるからかもしれません。そして、なによりも心の内を打ち明けあい、支えてくれる仲間がいるからかもしれません。つらい思いを共有してくれる人が、たった一人でもいてくれるだけで踏ん張る力になっていきます。いま、心が苦しいひと。組織の都合や家庭の都合でつぶれそうになっているひと。自分は自分でいいんだよと伝えたいです。そして、折れそうな心が回復できるように人と支えあって、少しずつレジリエンスの芽が強くなるように、育てていければいいなと感じるのです。

羽曳野市人権啓発推進協議会